

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	両専攻 1年	科目コード	77911202
科目名	技術の日本史 Japanese Technical History				
担当教員	二星 潤				
単位数(時間数)	選必 前期 2単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	日本の技術の特色についての認識を深めることにより、歴史的思考力を培う。				
先修科目					
後修科目					
備考	履修条件として、歴史の基本的な知識(本科1年「世界史」・2年「日本史」レベル)を持っていることが望ましい。それらの知識が不足している場合は、各自が事前に補っておくことが必要である。				
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	技術史の学び方	2	日本技術史を学ぶ目的を考える。		
2	弥生時代の技術	2	弥生時代の技術の持つ二面性について理解する。		
3	大陸からの技術受容	2	古代の技術受容について考察する。		
4	古代の技術	2	古代の技術と技術者について理解する。		
5	鎌倉時代の技術	2	鎌倉時代の建築技術について知る。		
6	室町時代の技術	2	室町時代の工芸技術を理解する。		
7	鉱山開発の技術	2	鉱山開発の技術について考察する。		
8	戦国時代の技術革新	2	戦国時代の技術革新の影響を理解する。		
9	製鉄の技術	2	製鉄技術の変遷をおさえる。		
10	江戸時代の農業技術	2	農業技術の進歩を考察する。		
11	江戸時代の土木技術	2	土木技術の影響を考察する。		
12	江戸時代の手工業	2	手工業の多様化を理解する。		
13	近代の技術導入	2	明治時代の先進技術の導入を知る。		
14	近代の科学技術	2	近代の科学技術導入のもたらした影響を理解する。		
15	まとめ	2	日本の技術とは何かを考える。		
<b>前期期末試験</b>					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	授業の内容と配布資料の情報を関連づけて理解した上で、論述問題をまとめることができることにより、学習・教育目標の(A-1)の達成とする。				
成績評価	期末試験(70%)とレポート(30%)で(A-1)を評価し、6割以上の得点で合格とする。				
教材	教科書: プリントを配布する。 参考書: 授業で随時紹介する。				
オフィスアワー	木曜日 16:00 ~ 17:00, 管理・一般科棟3F西 二星潤教員室				